

誰一人取り残さない 地域子育てコミュニティをつくる

子どもの安心と信頼感を育む居場所とは？

社会環境の変化に伴い、家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもも少なくありません。

子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む居場所とは？

本講演会では、千葉市で10年以上にわたり、子どもの声を聴き、子どもの主観に即した居場所づくりを実践してきた田村光子さんを講師にお迎えし、今なぜ子どもの居場所が必要なのか、その意義と地域の役割をお話いただきます。合わせて「子ども第三の居場所」実施団体の活動紹介も行います。

日時

3月7日(月) 13:30~16:30(受付13:00~)

会場

東金市中央公民館 講堂

(東金市東岩崎1-20) ※裏面に地図

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催方法を変更させていただく場合がございますので、御了承ください。



田村光子さん(植草学園短期大学こども未来学科 准教授保育士・社会福祉士)

障がいのある子どもたちの地域における支援活動を展開する中で、障がいのある・なしに関わらず、地域コミュニティにおける子どもたちの成育環境や人間関係の現代的課題があること注目し、研究を進めてきた。現在、千葉市・子どもの居場所アドバイザーとして、地域コミュニティにおける子どもの居場所づくりと人材育成について実践的展開をはかり、NPO活動等との協働の視点から研究を進めている。千葉市子どもの居場所アドバイザー、千葉市指定管理者選定評価委員、習志野市障害支援区分認定審査会委員、児童養護施設や障害者支援施設における評議員等。

対象：子ども支援・居場所づくりに関心のある方・すでに携わっている方、学校関係者、NPO、福祉関係者、自治体など

定員：100名(申し込み先着順)

参加無料

主催：公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

共催：東金市

後援：東金市教育委員会・東金市社会福祉協議会

助成：日本財団

●「子ども第三の居場所」実施団体活動紹介

- ・NPO法人3.11こども文庫おひさま(東金市)
- ・一般社団法人(設立準備中)かんでんち(木更津市)
- ・NPO法人教育サポートGAA(山武市)



お申込み
お問い合わせ

TEL 043-239-5335 (平日:9:30~17:30)

MAIL info@chibanowafund.org

●お申し込み方法は裏面をご覧ください



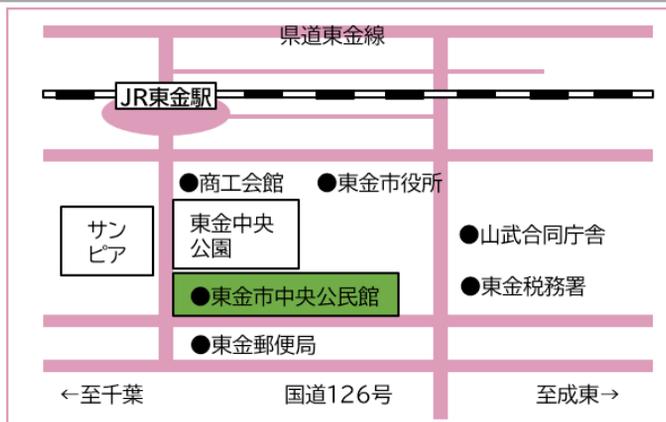
アクセス

【会場】

東金市中央公民館
(東金市東岩崎1-20)

【アクセス】

JR東金駅より徒歩5分
お車でお越しの場合、駐車場の台数に限り
がありますので、
近隣有料駐車場もご利用ください。



お申し込み方法

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

1 FAXでのお申込み

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、切り取らずに送信してください。

【送信先】(公財)ちばのWA地域づくり基金 行

FAX番号 043-239-5336

2 電子メールでのお申込み

・メールタイトルを「3月7日講演会申込み」としてください。

・メール本文に「ご所属(団体名等)」「お名前」「お住いの市町村名」「緊急連絡先電話番号」「メールアドレス」をご記載の上、送信してください。

【送信先】(公財)ちばのWA地域づくり基金 info@chibanowafund.org

●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への協力について

・発熱など、風邪のような症状がある方は参加を御遠慮ください。

・マスク着用、手洗い及び咳エチケットの励行をお願いします。

・入場時、検温、手指消毒へのご協力をお願いします。

※3/4(金)までにお申し込みください(事前申し込み制です)

【3/7(月)講演会 参加申込書】

お名前	お住いの市町村名	緊急連絡先電話番号	メールアドレス	ご所属(団体名)

■お申し込みの際に御提供いただきます個人情報は、本講演会に関する連絡・運営にのみ使用します。

■参加者が定員に達した場合は、参加いただけない旨を連絡しますので、参加申込書には、電話番号及びメールアドレス(保有していない場合を除く。)を御記入くださるようお願いいたします。

■新型コロナウイルス感染症拡大状況により、開催を方法を変更させていただく場合もございますので、御了承ください。変更する場合は、記載いただいたメール又は電話あてに御連絡いたします。

日本財団子ども第三の居場所コミュニティモデル@千葉
「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくる
—子どもの安心と信頼感を育む居場所とは?—」

実施報告書

開催日時	2022年3月7日(月) 13:30~16:30(受付13:30~)
開催場所	東金市中央公民館 講堂 および オンライン(Zoom)
参加者	会場: 42名(発表団体、講師、スタッフ含む) オンライン: 19名
参加費	無料
主催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
後援	東金市教育委員会、東金市社会福祉協議会
共催	東金市
助成	公益財団法人日本財団
開催目的	<p>社会環境の変化に伴い、家庭の抱える困難が複雑化・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもも少なくない。子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む居場所づくりは、地域全体で取り組まなければならない課題である。</p> <p>本事業では、子ども支援に携わる方・関心を持つ方に向けて、地域における子どもの居場所の必要性やその意義、地域の人々との交流を通じて子どもを育むための連携の重要性について理解を深めることを目的に、専門家による講演と、日本財団「子ども第三の居場所」実施団体の活動紹介を行う。</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶(公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 理事長 牧野昌子) 2. 来賓挨拶(東金市長 鹿間陸郎様) 3. 趣旨説明、講師・発表団体紹介 4. <第1部> 「子ども第三の居場所」実施団体による活動紹介と質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人3.11こども文庫おひさま(東金市) ・かんでんち(木更津市) ・NPO法人教育サポートGAA(山武市) <p>—休憩—</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. <第2部> 講演「誰一人残さない地域子育てコミュニティをつくる」 (田村光子氏 植草学園短期大学こども未来学科 准教授・保育士・社会福祉士) 講演後、質疑応答 6. アンケート記入、名刺交換
広報	東金市社会福祉協議会・東金市内の小中学校へのチラシ配布、県内市民活動支援センターへのメール、当財団ホームページへの掲載、
参加者の概要	NPO等非営利団体32名、行政8名、学校関係3名、不明3名、その他1名、発表団体・講師9名、スタッフ5名

<p>まとめ</p>	<p>当初は会場のみで開催する予定であったが、新型コロナの感染拡大状況に鑑み、会場参加に不安のある方もご参加いただけるよう会場とオンラインのハイブリッド開催に切り替えた。広報開始後の切り替えではあったが、当財団 HP やメールでの周知、発表団体の口コミにより、当日は 19 名の方にオンラインで参加していただくことができた。オンライン参加者の中には、東葛地域など遠方の NPO 関係者もあり、普段はなかなか接点の持ちにくい山武地域の NPO の取り組みを知っていただく機会を提供できたのではないかと思う。また、新規感染者数が高止まりするなか 30 名以上の会場参加者が集まったことは、子どもの居場所づくりへの関心の高まりはもちろんのこと、コロナ禍における安全な集い方への期待も感じた。</p> <p>運営面で感じた Zoom に関する課題は、改善点として次へつなげていきたい。</p> <p>今回のイベントでは、実際に居場所に取り組む 3 団体と、多くのデータと知見を持つ田村氏の、それぞれの視点から見た「子どもを取り巻く状況」が語られた。参加者からは「3 団体の発表と田村氏の講演の相乗効果で『何かできるかも』と思えた」という感想があった一方、「居場所づくりの緊急性の高さは理解できたが、いざ行動しようとするとの足を踏んでしまう」「居場所づくりに踏み出せるような仕組みがほしい」という感想もあったことが印象的であった。「子ども第三の居場所」実践団体の今後の活躍が、このように二の足を踏んでいる方の「後押し」になるように、当財団としても積極的に実践団体の情報を発信していきたい。</p>
<p>アンケート 集計結果</p>	<p>別紙参照</p>

当日の様子

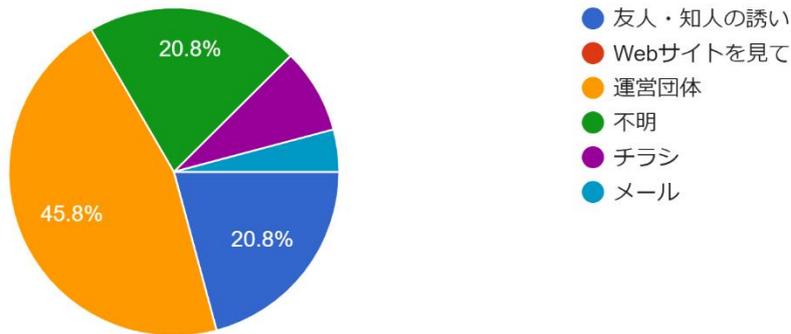


以上

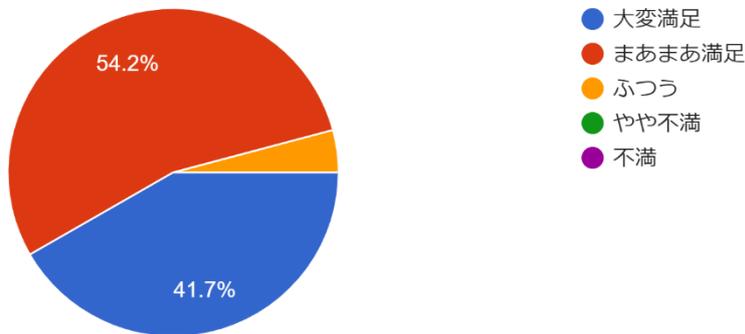
アンケート集計結果(会場)

2022年3月7日(月)13:30~16:30に東金市中央公民館で開催した「日本財団子ども第三の居場所コミュニティモデル@千葉(誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくる-子どもの安心と信頼感を育む居場所と

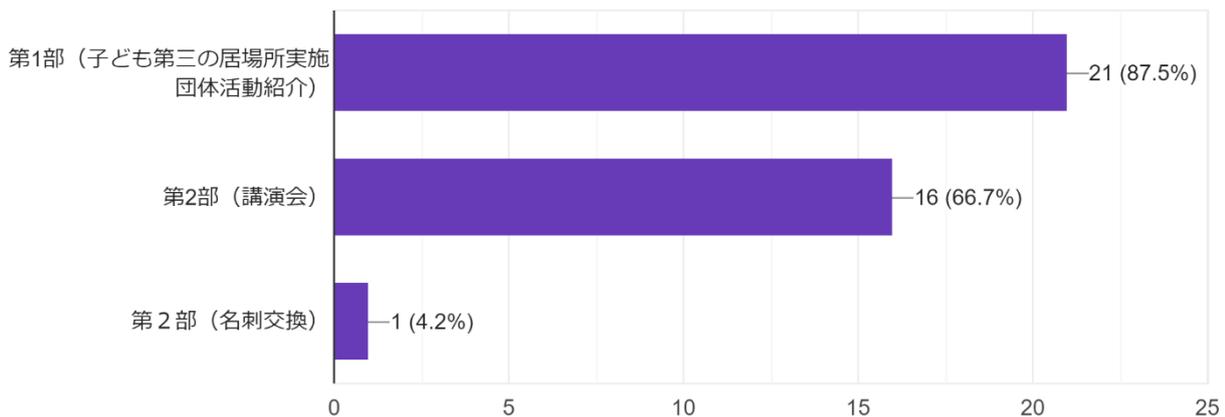
イベントへ参加したきっかけは何ですか？当てはまるもの一つにチェックをお願いします
24件の回答



イベントの満足度はいかがでしたか？当てはまるもの一つにチェックをお願いします
24件の回答



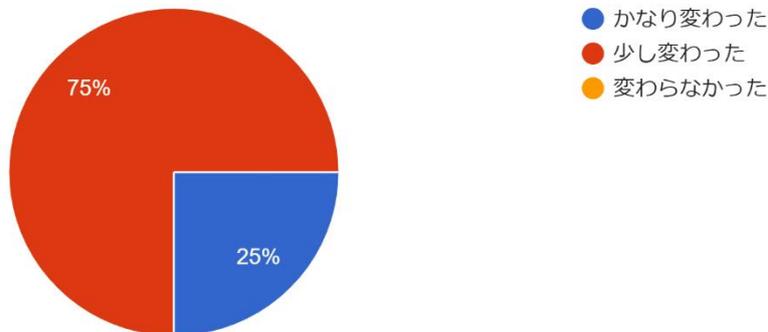
イベントの中でよかったところはどこですか？当てはまるものにチェックをお願いします
24件の回答



は?→の会場参加者を対象としたアンケート(配布枚数:32 回収枚数:24)

イベントへ参加して、あなたの意識は変わりましたか？

24件の回答

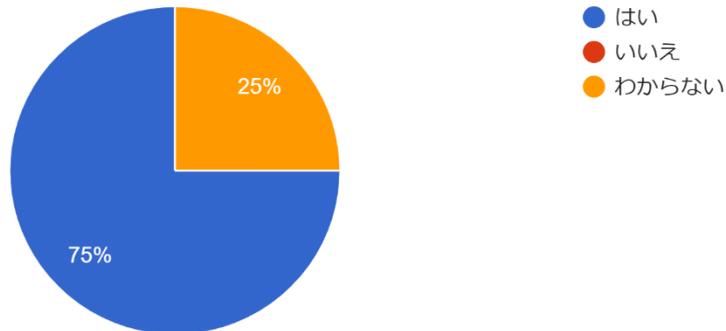


〈上記の理由〉

- ・すきまを埋めていくという考え方
- ・NPO 法人といってもそれぞれの個性や趣旨があると初めて知りました。
- ・今後、取り組みの方法や心構えを考えることができました。
- ・居場所の創出は、貧困世帯への間接的支援になっていく。その中で、困りごとを多機関でキャッチし、実際にハード的にある「子ども第三の居場所」の必要性は急務であると感じた。
- ・居場所では何をメインに活動するか様々であることがわかった。
- ・今の現状の子どもたちがよくわかった。誰でも気軽に居場所を作るのが大事だなと思った。
- ・データや子どものリアルな声を通じて、本当に放課後や休日の子どもの居場所が求められているということ強く実感できたから。
- ・大人が考えた支援も大切だが、子どもたちが求めている助けにこたえる機会が本当に必要だと感じた。団体ごとに様々な資本をもち、活動にいかしていることを知りました。また、活動には限界があるようだと感じました(自分なりに協力していける形を探したいとは思っています)
- ・日本の(世界の)子どもの現実を知らなかった。いろいろなデータを載せていただいてありがとうございます。
- 子どもの考え、感じ方が大人とは違うということ、講演の内容からよくわかりました。
- ・コロナ禍の中で子どもたちの居場所づくり、たくさんのエネルギーが必要かと思います。その中で頑張っているみなさま、素晴らしいです。自分の立場から...できることから全力で応援していきたいと思います。
- ・子どもの居場所を作り活動している方々を知ることができてよかったです。
- ・子どもの居場所づくり、大事なことだと考えていましたが、様々な裏付けとなるデータをもとにお話を聞けてストンと落ちて納得することができました。せちがらい世の中ですが、親の事情で子どもがあきらめることが可能な限り少なくなっていく社会にしたいと考えます。
- ・結果ではなくプロセスを大事にして やはり心の育ちが大事だとあらためて考えさせられえた
- ・子どもの居場所という所はどのような場所なのかについて、また考える機会になりました。
- ・現在進められている第三の居場所の方向性について再確認した
- ・地域に根差した活動は、必要とする方々にはとても効果的で、かつ行き届いたものであると思います。目的を同じくする団体が官も民も分け隔てなく活動に参加できるプラットフォームが必要であると感じました。
- ・我々も申請したので実際の活動に興味が大いにあった。これからの活動の参考にしたいと思い参加した。
- ・行政との連携の実情を知ることができた
- ・Zoom 一本で千葉県中集まれる。会場は危険な時期。各地の情報がわかってよかった。

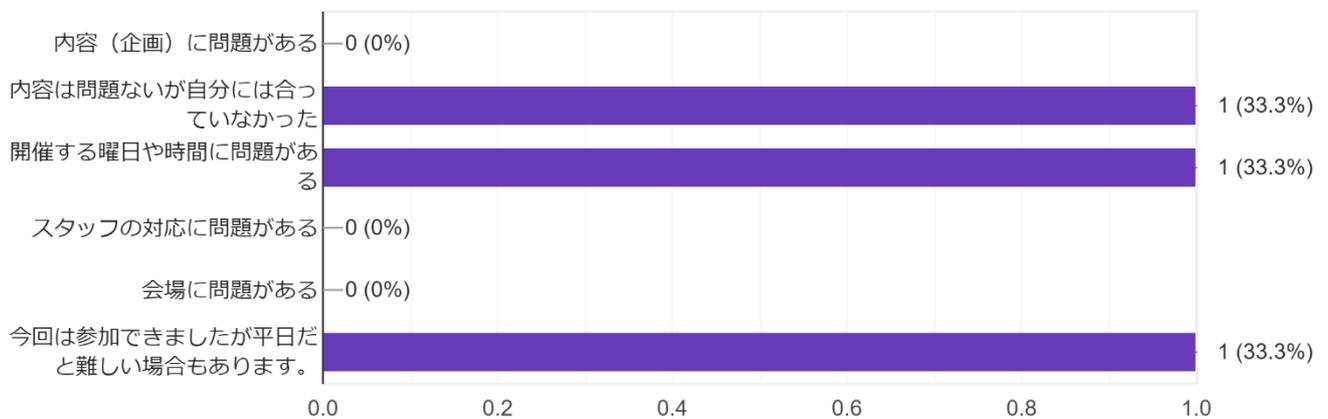
同様のイベントがあれば、また参加したいと思いますか

24件の回答



(上記で「いいえ」とお答えの方) 参加したくない...当てはまるもの全てにチェックをお願いします。

3件の回答



〈財団の活動をよりよいものにするため、お気づきの点、本日の感想などをご自由にご記入ください〉

- ・新規の団体ばかりでなく経験豊富な団体の問題点解決の例などを説明する場があると大変役に立つと思いました。貧困が子どもの気持ちに根深い影響を与えていることを、田村先生の講演を通じてよくわかりました。素晴らしい講演でした。
- ・思った以上に、子ども居場所がないことに対しての子どもの声があること、その一方で居場所を提供したいと考えている大人がいることがわかりました。このような「子どもカフェ」のような取り組みに1歩踏み出すことが容易になるような仕組み作りや金銭的支援が求められると思いました。
- ・年々、子どもの自殺者数が増えていることに驚いた。子どもと親を含めて支援していくことが大切であると思った。また、包括的な支援が必要であるため、その協力関係の形成が必要であるが、難しさなど課題が多いと感じた。
- ・今回のような機会をいただき「子どもの居場所」に関して考えていきたいという思いを改めて実感しました。ありがとうございました。
- ・東金市内で2人の小学生を育てています。市内の保育所で働いています。社会的養護を勉強中です。田村先生の話聞いて、まず、うちの子は幸せかと思いました。娘の友達は？地域の子は？市内でおひさま文庫をやってくれていますが、距離的に遠く、家庭的に問題のある子は特に気軽に行けません。公民館の下に児童館がありますが、コロナ禍もあってかあまり利用されていない印象...。自分には何ができるか考えます。
- ・千葉市の活動の様子が知れてよかったです。東金市にも子どもカフェ(学内にも)できるとよいと思います。

- ・本日はイベントありがとうございます。地域によっては居場所に簡単に子どもがいけない所で小学校地区単位でできるとよいなと感じました。
- ・信頼する大人がいないという子どもからの声はショックですね 確かに感情的になったり、答えがコロコロ変わることに考えさせられました。
- ・1設置のための条件はあまりつけない方がいいと思います 2現在実施されている子育て支援活動を後押しする支援を望みます
- ・会場と Zoom の両方で参加を選択できてよかったです。会場のマイクが聞こえにくく少し残念でした！
- ・同一会場内で Zoom スピーカーのハウリングをなくすには話し手以外の複数 PC のスピーカーボリュームを 0 にします。ワイヤレスマイク、有線マイクの音は離れると拾えないので PC のマイク前で話すべきです。

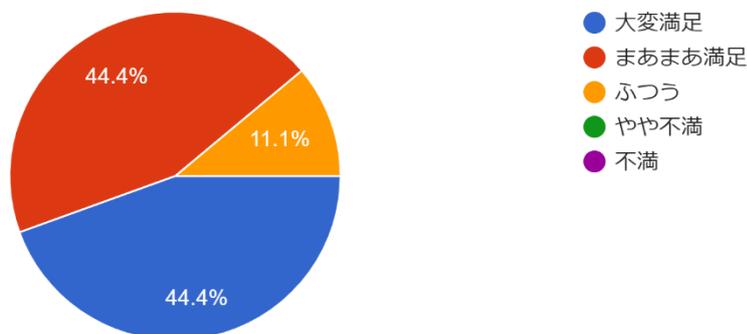
アンケート集計結果 (オンライン)

2022年3月7日(月)13:30~16:30に東金市中央公民館で開催した「日本財団子ども第三の居場所コミュニティモデル@千葉く誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくるー子どもの安心と信頼感を育む居場所と

イベントへ参加したきっかけは何ですか？当てはまるもの一つにチェックをお願いします
9件の回答

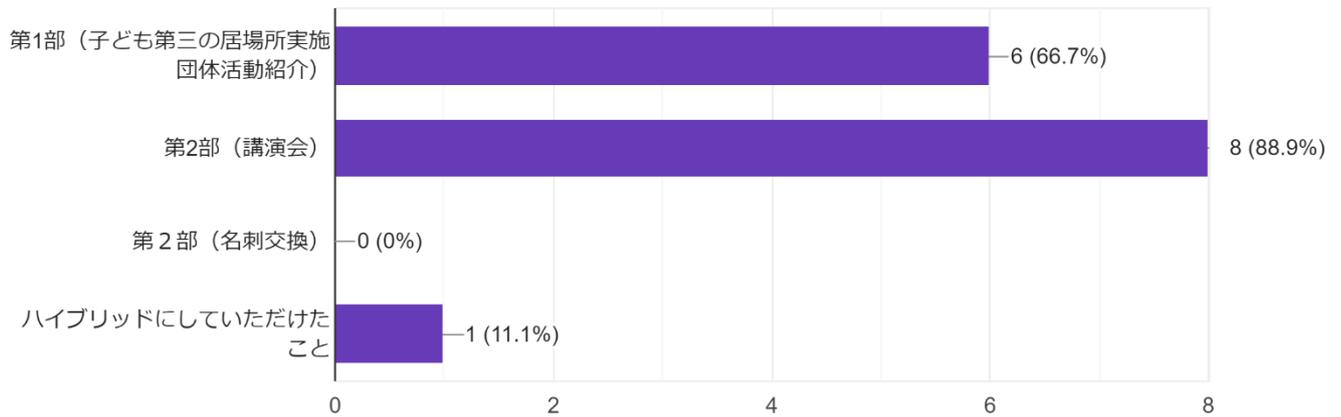


イベントの満足度はいかがでしたか？当てはまるもの一つにチェックをお願いします
9件の回答

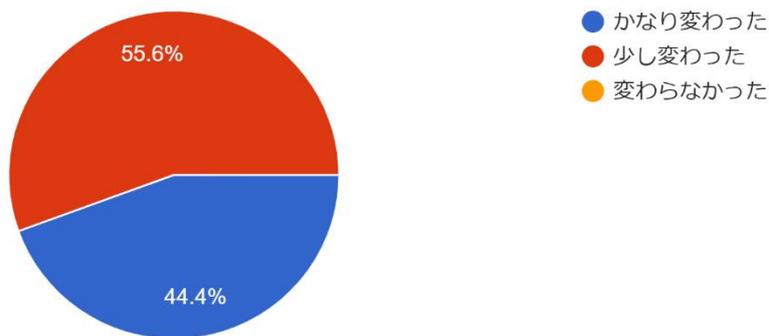


は？-のオンライン参加者を対象としたアンケート(送信数:19 回答数:9)

イベントの中でよかったところはどこですか？当てはまるものにチェックをお願いします
9件の回答



イベントへ参加して、あなたの意識は変わりましたか？
9件の回答



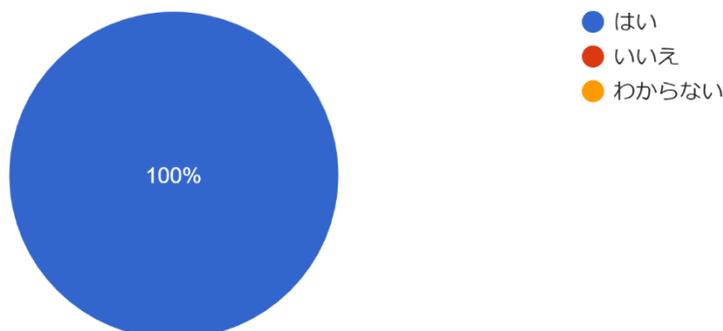
〈上記の理由〉

- ・いま、子ども食堂を立上げ中。その目的意識が変わった（ブラッシュアップできた） 追伸：質問タイムで田村先生に資料のご紹介をお願いした者です。こちらに連携いただけると嬉しいです。
- ・地域でもっと大人が子ども達を支援する機会が必要であること
- ・いろいろお聞きし、多様な対策を様々な角度から検討することの必要性を改めて感じました
- ・「現代の子どもの成育環境の課題として、空間・時間・仲間の3つの間が失われて、子どもたちは多様な社会の圧力にさらされながら自立・自律をしていくことを求められている」ということと、「子どもの権利を守っていくこと」が大切であるということを確認できました。
- ・地域で子どもたちのために活動されている団体を知ることができて、とても参考になったから。知らなかった活動を知れてよかった
- ・子どもの第3の居場所はとても必要なものだと考えていましたが、思っていた以上に緊急性は高いと感じました。田村講師のデータに基づく根拠や子どもたちに寄り添う姿勢は聞いていて胸が熱くなるほど。意識は変わりましたが、いざ行動をするとなると色々な壁が立ちはだかりそうで二の足を踏んでしまいます。

・実践団体の方たちの目的が明確で、しっかり活動していってやる事が伝わったことと、田村先生の明るく元気な講演は子どもの現状を思うお気持ちに溢れていて、二つのパートが相乗効果で「何かできるかも」と思わせて下さいました。3ヶ所とも見学に行きたいなと思いました。

同様のイベントがあれば、また参加したいと思いますか

9件の回答



〈財団の活動をよりよいものにするため、お気づきの点、本日の感想などをご自由にご記入ください〉

- ・財団の活動をよく知りませんでした(失礼しました)。今後、注目いたします。
- ・今回、会場とzoomのハイブリッド開催でご準備、当日の運営等本当に大変だったと思います。資料のダウンロードもでき、助かります。参加者思いのとても有意義な講演会でした。田村先生のお話も具体的でわかりやすく、資料も・興味深いものばかりでした。ありがとうございました。
- ・このような財団の活動や取り組みが、特定の人にしか認知されていないのが残念です。もっと広く認知されるようになれば良いですね。
- ・オンラインの状況としては、発表者の席で話されたところ以外の、初めの挨拶と質疑応答など会場のマイクでの話が聞き取れませんでした。
- ・オンラインの参加でかつ、会議があったので途中で退席させていただきました。地域のつながりが希薄となり、子供たちが自由に集まる時間も場所もない現在、子育てに悩む親や家庭で居心地よく過ごせない子供の居場所を作ることは、改めて必要なことだと感じました。田村先生の講演を最後まで聞きたかったです。今回、ハイブリッドの開催でしたが、使うマイクによって聞き取りづらい場面がありました。その点を工夫していただければありがたいです。
- ・会場とzoomとのハイブリッドでとおっしゃている割には、画面共有や各団体の紹介など話してる方の顔が写っていないなどスムーズでなかった。スタッフ同士の会話なども入り雑音も多かった。会場の都合なのどもあるが、操作する部屋を分けるなど工夫があればよかった。講演の内容は良かっただけに事務局のネット環境の改善余地あり。
- ・第3の居場所事業のことは存じあげなかったもので、今回の機会はありがたかったです。何かしたいと思ってる潜在的な人材はいます。しかしながら、多くが場所やスタッフ、運営資金などで、何かから手をつけようか手をこまねいていると思います。家庭教育学級やPTAでの講演など、子育て世代そのものと、子どもの置かれている現状把握と何かしようという機運を高める事ができるといいですね。

まとめ

〈参加のきっかけ〉〈イベントの満足度〉

会場参加者は、「団体からの紹介」と「友人・知人の誘い」が多かったのに対し、オンライン参加者は「団体からの紹介」に次いで「WEBサイトを見て」という回答が多かった。イベントの満足度については、会場参加の方がやや上回る結果となった。

〈よかったところ〉

会場参加では第1部の団体発表が上回り、オンライン参加では第2部の講演会が上回ったが、いずれも大きな差は見られず、全体的な満足度の高さがうかがえる。

〈意識の変化〉

「変わらなかった」という回答はいずれの参加にも見られず、回答者全員に何らかの意識の変化があったことがうかがえる。

〈今後の参加の意思〉

会場参加のみ回答者の25%が「わからない」と回答した。「わからない」と回答した理由については、平日以外の開催を希望するものが目立った。

以上

食を通して多世代交流できる場所がオープンします！

ワンデイシェフかんでんちは2022年3月に館全体を「寛傳知(かんでんち)」として生まれ変わります。



支 援 ……子ども第三の居場所「**つながるかんでんち**」
日中一時支援事業所「よりみちかんでんち」
食 ……シェフが日替わりのレストラン
「ワンデイシェフかんでんち」
企業・個人……シェアスペースを利用した教室やイベントの開催

寛傳知は日本財団「子ども第三の居場所」プロジェクトの拠点の1つとなりました。

※詳細につきましては裏面またはホームページをご覧ください

リニューアルオープンを前に以下の日程で**内覧会**を行います。

「つながるかんでんち」月に一度の誕生日会メニュー「お赤飯」を先着50名様にプレゼント！

12時に歌や演奏の音楽会♪お気軽に遊びにきてください！

※当日はマスク着用をお願いします。また間隔をあけてご覧ください。

みんなが参加できる
イベントを開催したい！

楽しそうな教室があったら
参加してみたい！

近所だけど
どんな場所なの？！

よりみちかんでんち
つながるかんでんち
利用したい！
どんなことするの？

日時 2022年3月17日(木) 11時～14時

場所 千葉県木更津市中央2-8-18

何か手伝いたい！

飲食店
やってみたい！

お問合せは 0438-25-6544 寛傳知まで

留守の場合はメッセージを残していただければ、

こちらから折り返しご連絡いたします。

寛傳知ホームページはこちら



子ども第三の居場所「つながるかんでんち」



子ども第三の居場所とは
子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、
人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来
の自立に向けて生き抜く力を育む場所です。

詳しくはこちらをご覧ください



「つながるかんでんち」のある日

🕒 15:00 小学校・中学校の授業が終わったら～

「ただいま」ちょっと休憩・・・さあ宿題しようかなあ～

🕒 16:30

夜ご飯の準備 掃除 🧹

使った場所を
きれいにしよう！

🕒 17:00

「いただきます」ちょっと早い夜ご飯 🍱

メニューは
おにぎりと豚汁
(ごはん代100円)

🕒 17:30

片付け 帰る支度をしよう！

🕒 18:00

「さようなら」家に帰ります 🌙

家が遠い人は車で
送ります♪

「つながるかんでんち」は3時から6時まで開いています。

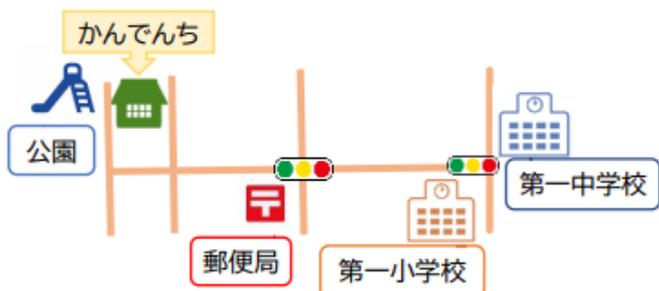
いつきても、いつ帰っても、だいじょうぶ！

※ご利用時には、氏名・住所・連絡先を書いていただきます。

自分で書くことが難しい場合は名札等を参考にスタッフがお手伝いします。

※入退室はスタッフが管理いたします。

※送迎は別途利用料をいただきます。必要に応じ入浴や洗濯の支援も行います。



開所日 月曜日・水曜日・木曜日

開所時間 15時～18時

※2022年3月28日(月)スタート！

利用方法等についてお問合せは

0438-25-6544 寛傳知 までお願いします。

